

1. 日・ウガンダ官民インフラ会議(1月9日)

- (1) 日時：平成29年1月9日(月)
- (2) 場所：ウガンダ共和国 カンパラ市内 ホテルアフリカーナ
- (3) 主催：(日本側)国土交通省 (ウガンダ側)公共事業省
- (4) 参加者：両国で約280名

(日本側の主な出席者) 国土交通省(末松国土交通副大臣、麦島官房審議官、森官房参事官)、在ウガンダ大使館(亀田大使)、JICAウガンダ事務所(川澄所長)、日本企業(アフリカ・インフラ協議会の建設、コンサル、商社、メーカー等 23社)等 約60名

(ウガンダ側の主な出席者) ルグンダ首相、アズバ公共事業大臣、バギーレ運輸国务大臣、オクロ在京大使、現地インフラ関連企業等

(5) 概要:

① オープニング・スピーチ(冒頭挨拶)

会議冒頭、ルグンダ首相、末松国土交通副大臣、アズバ公共事業大臣、アフリカ・インフラ協議会(株)フジタ 奥村代表取締役社長、バギーレ運輸国务大臣、亀田大使より、挨拶を行いました。

<末松国土交通副大臣の挨拶概要>

「TICAD VIの際、安倍総理はムセベニ大統領と会談し、安倍総理からは日本企業の貴国進出を促進したい旨表明するとともに、ムセベニ大統領からは両国関係の重要分野の1つとして、インフラ整備の協力が要請された。今回、首脳会談の成果を踏まえ、官民インフラ会議を開催できたことは大変嬉しい。内陸国であるウガンダは、交通インフラの整備により、大きな発展の可能性が見込まれる。また、カンパラをはじめ交通渋滞対策も急務。インフラ需要への対応にあたり大切な視点が「インフラの質」。本日の会議は、日本企業23社が出席し、塗装の必要がない橋梁鋼材、迅速かつ効率的な道路舗装技術、交通量に対応した信号システム等、我が国が世界に誇る取組を共有する。友好的な国民性で知られ、美德を共有する両国民、両国がインフラ分野で更なる協力関係を構築していくことを祈念。」

ルグンダ首相との日・ウガンダ官民インフラ会議開会式



末松国土交通副大臣のオープニング・スピーチ(冒頭挨拶)



オープニング・スピーチ(冒頭挨拶)の後、基調講演、署名式、カンパニーセッション(企業紹介)、ワークショップ及びビジネスマッチングを実施しました。

② 基調講演

基調講演においては、国土交通省森官房参事官より「日本の質の高いインフラ」、ウガンダ公共事業省バゴンザ局長より「ウガンダにおけるインフラ開発」、JICAウガンダ事務所河澄所長より「ウガンダにおけるJICAの協力プログラム」、ウガンダ道路公社より「現在及び今後のウガンダでのプロジェクトとその課題」のプレゼンテーションを実施しました。

③ 署名式(「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名・採択)

末松国土交通副大臣は、アズバ公共事業大臣との間で「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名・採択しました。覚書においては、「質の高いインフラ投資」の推進に向けて、「日・ウガンダ官民インフラ会議」の後も対話を継続するため、定期的に意見交換する枠組み「質の高いインフラ対話」(“Quality Infrastructure Dialogue”)を立ち上げ、対話を継続することで合意しました。また、本邦インフラ関連企業3社も、ウガンダ建設協会 (UNABCEC)との間で、インフラ分野に関する協力の覚書に署名しました。

署名式(末松国土交通副大臣とアズバ公共事業大臣)



署名式(日本企業とウガンダ建設協会)



④ カンパニーセッション(企業紹介)

カンパニーセッションにおいては、我が国インフラ関連企業(アフリカ・インフラ協議会)23社の代表及びウガンダ建設協会(UNABCEC)等が登壇し、「質の高いインフラ投資」の実績や技術等についてプレゼンテーションを実施しました。

⑤ ワークショップ

参加者の関心に応じ、「建設業における協力」「都市交通と道路維持管理」「ライフサイクルコストを考慮した道路・橋梁」「質の高いインフラの最先端技術」の4テーマに分かれてワークショップを開催し、日本企業やウガンダ企業等からのプレゼンテーションの後、活発な質疑応答、意見交換が実施されました。

⑥ ビジネスマッチング

日本企業が個別のブースに分かれ、関心を有するウガンダ企業等と面談を実施しました。活発な情報交換を行い、日本企業とパートナーとなり得るウガンダ企業等との間で関係構築を行いました。

日本及びウガンダ共和国の代表



ビジネスマッチングの様子



2. ウガンダ共和国政府要人とのバイ会談(1月9日、10日)

末松国土交通副大臣は、ルグンダ首相及びアズバ公共事業大臣と会談を行い、TICAD VIの成果等を踏まえ、「質の高いインフラ」投資推進に向けた協力関係を強化することで一致しました。また、カンパラ市の交通渋滞対策や道路整備など各種インフラプロジェクトについて意見交換を行い、カンパラ立体交差建設・道路事業の日本企業受注に向けてトップセールスを実施しました。さらに、同行した我が国インフラ関係企業等(アフリカ・インフラ協議会)を紹介しました。

ルグンダ首相からは、日本の訪問団を歓迎するとともに、カンパラの道路整備やキャパシティ・ビルディングの重要性についての説明があり、日本の支援に対する感謝と協力への期待が表明されました。

アズバ公共事業大臣からは、会議の成功を喜ぶとともに、日本への期待について説明があり、署名した覚書に基づき、会議のフォローアップとして4月に「質の高いインフラ対話」を行うことを確認しました。

3. その他(1月9日、10日)

末松国土交通副大臣は、アフリカ各国閣僚や我が国インフラ関係企業経営者等(アフリカ・インフラ協議会)を交え、ネットワーキングのための懇談会等に出席したほか、クイーンズウェイ・変電所やカンパラ立体交差建設・道路改良事業地等のウガンダに対する我が国の重点支援プロジェクトの現場を視察しました。

ルグンダ首相とのバイ会談

